

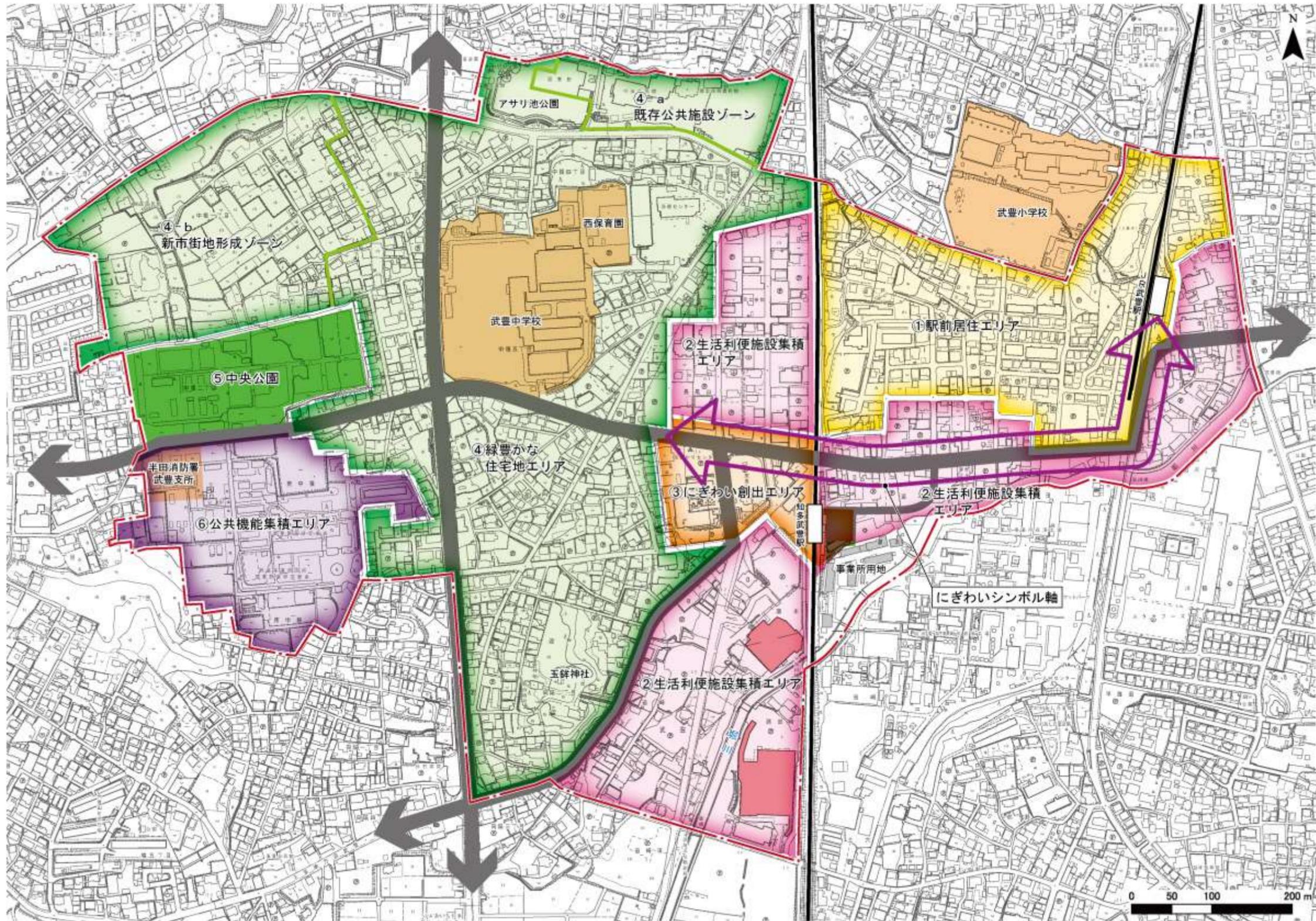
まちづくりのアイデアについて（第2回策定委員会ワークショップより）

●ハード施策 ●ソフト施策 ●その他

まちづくりの目標		武豊の『顔』となるワクワクするまち		たくさんの人が快適に、楽しく暮らせるまち		持続可能な未来に向け、武豊を先導していくまち	
戦略		①多くの人が集まる駅周辺のにぎわいを創出するまちづくり	②町民への公共サービスが充実するまちづくり	③通勤通学や買物が便利で、良好な住環境で暮らせるまちづくり	④歩いて武豊の魅力を体感できるまちづくり	⑤新しいことにチャレンジするまちづくり	⑥災害に強いまちづくり
土地利用計画	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとまった緑、シンボルとなる緑</li> <li>●水のある空間</li> <li>●気軽に立ち寄れる店や、開かれた場所</li> <li>●近くに目的地(公共施設、お店)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●町内全域の交通動線整理</li> <li>●速度抑制策→安心して人が歩ける道路</li> <li>●歩道、車道整備、歩車分離</li> <li>●徒歩かコミュニティバスの積極的利用</li> <li>●高齢者の行き場づくり</li> <li>●歩道を広げて散歩と休憩スペースとしての活用</li> <li>●小中高生の行き場づくり</li> <li>●歩道を広くする</li> <li>●巡回バスの増便</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全な歩行空間</li> <li>●常滑さんぽ道のような散歩道の設定と活用</li> <li>●飲食店(武豊グルメ)</li> <li>●楽しい歩道(舗装面、幅員、モニュメント)</li> <li>●イベントを行う</li> <li>●武豊名物づくり</li> <li>●わかりやすい案内板</li> <li>●歩きたくなる町、みんなのおうち(空き家の利用)とか、イルミネーション、オモシロイ置物、既に存在するものを活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゼロカーボンシティを先導できる場所を設定する</li> <li>●蓄電システム</li> <li>●太陽光、風を生かす創エネ(電気を自らつくる取組)システム</li> <li>●ドラマ、映画ロケ勧誘</li> <li>●自動運転 EV バスでピストン輸送</li> <li>●エコの町、エコサポーター、みんなのコンポスト設置→堆肥は花だん、畑へ</li> </ul>	
	①駅前居住エリア			<ul style="list-style-type: none"> <li>●マンション・アパート等の誘致</li> <li>●住民ニーズを満たす多様な住宅(ワンルームから3LDK)</li> <li>●SNS等で住みやすさのPR</li> <li>●電車通勤の人にアプローチ「武豊線の始発(座れる)の名古屋への通勤」</li> <li>●町内会のハードルを下げる(やらされ感にしない)</li> <li>●語り場、高齢者、大学生、子ども</li> <li>●道を広くする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国人を含めて多様な人が力を発揮できる仕掛け</li> <li>●若者の起業を応援できるハード+ソフトの仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災のまちをアピールすること</li> <li>●安全な場所であること</li> </ul>
	②生活利便施設集積エリア				<ul style="list-style-type: none"> <li>●オシャレなカフェ</li> <li>●スタバ、無印等安定的に人が来る店を誘致</li> <li>●オシャレな休憩スペース設置</li> <li>●カフェ等毎日立ち寄れるお店</li> <li>●駐車場、駐輪場</li> </ul>		
③にぎわい創出エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●駅前マルシェ等、イベントスペース</li> <li>●図書館もしくはTSUTAYA等の大型書店</li> <li>●駅利用者の滞在スペース</li> <li>●まちの顔として駅に降り立つと「武豊に来た」と実感の持てる</li> <li>●醸造のまちの再生・再現</li> <li>●エリアマネジメント、駅西の空間を住民で管理する</li> <li>●誰の何のにぎわいにするか</li> <li>●大宰府スタバのようなその土地を表現したカフェ</li> <li>●道路の再配置</li> <li>●駐車場が少ない、ほしい</li> <li>●駐車場、駐輪場をつくる</li> <li>●開けた駅前広場</li> <li>●駅前でストリートミュージック</li> <li>●芝生広場でマルシェ</li> <li>●マルシェができる芝生広場</li> <li>●芝生広場(公園)</li> <li>●貸しキッチンや、作った総菜等が販売できる場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティホールとしての新しい役場</li> <li>●使い方が柔軟なコミュニティ施設</li> <li>●駅前に図書館</li> <li>●公共施設(役場、図書館、ホール)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●トゥクトゥク、セグウェイ等めずらしい乗り物</li> <li>●(電動)シェアサイクル、移動しやすい空間</li> </ul>		

まちづくりの目標	武豊の『顔』となるワクワクするまち		たくさんの人が快適に、楽しく暮らせるまち		持続可能な未来に向け、武豊を先導していくまち	
戦略	①多くの人が集まる駅周辺のにぎわいを創出するまちづくり	②町民への公共サービスが充実するまちづくり	③通勤通学や買物が便利で、良好な住環境で暮らせるまちづくり	④歩いて武豊の魅力を体感できるまちづくり	⑤新しいことにチャレンジするまちづくり	⑥災害に強いまちづくり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント会場(消防ふれあい広場)フードコート、キッチンカー</li> <li>● 手作り菓子、お惣菜がゲットできるキッチンカー</li> <li>● 若者が集まれる場、スケボーパーク</li> </ul>					
④緑豊かな住宅地エリア		<b>既存公共施設ゾーン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設の過不足に応じて活用を考える</li> <li>● 学校・研究所→文教地区(図書館は残す)</li> </ul>		<b>新市街地形成ゾーン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● キャンプ場の設置</li> <li>● ドッグランがある公園</li> <li>● プレイパーク、自然体験型公園</li> <li>● 農園</li> <li>● 市民農園等緑を生かした活用法</li> </ul>	<b>既存公共施設ゾーン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来型の公園(畑)町民で作る花、果樹、野菜等</li> </ul>	
⑤中央公園					<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅から中央公園までEVの乗り物、モノレールのような</li> <li>● 駅から中央公園までエスカレーター</li> </ul>	
⑥公共機能集積エリア				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飲食店</li> <li>● カフェ</li> <li>● レストラン</li> <li>● 公共施設のとなりにカフェ、レストラン、民と官をつなぐエリア</li> <li>● 道路や公園を民間利用できるように</li> <li>● 軽トラ市(露地野菜)、マルシェ</li> </ul>		
にぎわいシンボル軸				<ul style="list-style-type: none"> <li>● イルミネーションを設置</li> <li>● 各所にフォトスポットを作る</li> <li>● みゆき通りまつりで活性化</li> <li>● マルシェ等を行う</li> <li>● 縁側カフェ、たたみカフェ</li> <li>● 町内東西の道を拡幅→トラックを迂回</li> <li>● アーケードで雨天時もウォークブル</li> <li>● 両駅間に大きなパーキング</li> <li>● 駐車を軸に両駅まで歩く動線</li> <li>● ここを町の主要商業地とする(他地区に作らない)</li> <li>● みゆき通り、道路を活用してチョークでお絵描き、むかし遊び、大道芸体験等</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道を上に走らせる</li> <li>● 名鉄河和線の武豊駅の高架化 ※東西アクセスの向上</li> <li>● 名鉄とJRの駅の一体化 ※総合駅化(バス交通も含め)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場見学ツアーを行う</li> <li>● 中央公園の活用、PRする</li> </ul>		

# まちづくり構想図



- ①駅前居住エリア**  
 若者から高齢者まで多様な世代の居住ニーズに対応した戸建住宅・共同住宅等が立地するまちなか住宅地エリア
  
- ②生活利便施設集積エリア**  
 既存施設を含め、生活利便施設が充実し、地域住民のみならず全ての町民の便利で快適な暮らしを支えるエリア
  
- ③にぎわい創出エリア**  
 町内外から多くの人が集い、多様な交流・ふれあいが生まれ、町の玄関口にふさわしいにぎわいあふれるエリア
  
- ④緑豊かな住宅地エリア**  
 ・既存公共施設ゾーン  
 ・新市街地形成ゾーン  
 緑豊かで環境にも配慮した戸建住宅等が主に立地するエコ住宅地エリア
  
- ⑤中央公園**  
 多くの町民が集うことができるとともに防災機能を備えた公共交流拠点の核となる公園
  
- ⑥公共機能集積エリア**  
 環境に配慮した公共施設(役場庁舎等)が集積し、様々な目的の町民が集い、町民同士の豊かな交流が育まれるエリアであり、町全体の低炭素化をリードする先導的エリア
  
- にぎわいシンボル軸**  
 沿道に買物・飲食・サービス施設が充実し、歩行者がくつろぎ・憩うことができる空間が確保されるとともに、まちの玄関口である名鉄知多武豊駅及びJR武豊駅へつながるシンボリックな都市景観が形成された、歩くことが楽しくなるエリア  
 (ウォークアブルなまちづくりの推進)